

JAITI 23

Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundation

JAITIとは、「財団法人日本農業研修場協力団」の英文、Japanese Agricultural Inservice Training Institute Foundationの頭文字の略で「ジャイチ」と呼びます。1999年、農業を生活基礎とする、開発途上国の農村地域社会の人々が、「生きる権利」の食料を安定確保することで、生活の中に基礎的な教育と公衆衛生に目を向けるゆとりを持ち、健康で、自立心豊かな地球上の「友」になることを願って、活動が展開されています。

事務所 (財) 日本農業研修場協力団
〒396-0502 長野県小県郡武石村沖456
TEL. 0268-85-3465 FAX. 0268-85-3583
東京連絡所 〒113-0031 東京都文京区根津1-19-3 (小林茶)
TEL. 03-3828-9263 FAX. 03-3828-9262

今日のジャイチ

理事長 島田基正

世界中で自然環境保護に
対する意識が高まる中、農
業を生活基礎とする発展途
上国の人々に温かな手を差
し伸べ、大きなご支援を下
さっているジャイチの支援
者の皆様に対し、心から敬
意を表し感謝申し上げます。
全ての物が満ちあふれてい
る日本では想像出来ない程
の貧困な生活を強いられる
発展途上国の国民の生活を
支え、教育施設や公衆衛生
の整備向上に努めて頂いて
おります事は人々の心を優
しく豊かに包み、明日への
活動力の基となっている事

と拝察致しております。ど
んなにか有難く感謝されて
いる事と誇りに思い、心よ
り御礼申し上げます。
日本においては、オゾン
層の破壊や地球温暖化が進
む中、NGOや地方自治体
などの地域住民による自然
保護運動も盛んになり、豊
かな自然を取り戻そうとす
る活動が行われるようになって
まいりましたが、発展途上国で
はまだまだその余裕はなく
生活の糧を生み出すだけで
も大変な生活を強いられて
おります。そのような状況
の中で、ジャイチの活動は

多くの人が
が人間らし
く生きられ
る礎を育く
み応援する
ために献身
的に尽くさ
れています。
長野県の
美しく豊か
な自然環境
は、気候・
風土・地形
地質、植物
動物)人々
の生態系等
の複合で織

妙な関係が調和し均衡する
ことにより維持されており
ます。こうした自然環境を
保護、保全していくためには、
自然の多様性を十分に理解
した上で人間も自然の一部
であるという認識に立って、
自然と共生する社会を創っ
ていくことが二十一世紀を
豊かに発展させる源となる
と思えます。

日本では当たり前に通っ
ている学校が無かったり、
通う事が困難な子供たちの
為に、皆様のお力で夢と希
望を与えて頂く為に子供た
ちの輪がキラキラと輝くよ
うに、一、更なるご尽力を
賜りながら、今後の事業を
推進して参りたいと存じま
す。

国際協力のもと、発展途上
国の生活向上を支える為に
は支援者の皆様のご協力が
不可欠であります。今後と
も、何卒宜しくお願い申し
上げます。

世界中が、襟然と輝く太
陽の明るさに日々の喜びを
感謝し、未来に希望を持っ
て、いつも心に微笑みを忘
れずに生活出来る環境を皆
でつくりましょう。

この半年間ジャイチの活
動状況をお知らせします。
●理事長が変わりました。
三月の理事会で七年九ヶ月
間、理事長を務められた、
室賀三郎氏が、任期満了
に伴い勇退されました。新
理事長には、小林榮氏が選
任されました。

●ネパール
総合指導に二月、五月菊池
健吉理事を派遣、カカニ農
場へは二月、藤の予治
庫設置の検討、五月、
農業指導に土屋典雄農
業指導員を派遣しまし
た。バシユバント学校
には、三月、寄生虫除
査に、春本宏介医師を
派遣。五月は、目標の
三〇〇人の在校生にな
ったことから、学校の
完成式が村民の主導で
執り行なわれました。

●講演・バザール等は、以下
のとおりです。ご協力有難
うございました。
一月森のなぎそ塾(長野県
南木曾町)、三、四、五月計
四回世田谷オーブンマーケ
ット(東京都世田谷区)、
三、四月根津バザール(東京
都文京区)、五月佐久総合病
院祭バザール(長野県白田町)、

●手紙は、支援者の皆様か
らの寄付金、バザール収益金、
公的機関、各種団体へ申請
しての助成金で賄う予定で
すが、不足分は、財団設立
代表者の小林榮理事長より、
寄付金をお願いすることに
なります。
●理事局長が二月末で事務
局を辞されました。(事務局)

第七期役員名簿 (平成十四年四月一日～十六年三月三十一日)

理事長	小林 榮	東京都文京区 (再任)
副理事長	島田 基正	長野県上田市 (再任)
常務理事	下村 恭	長野県丸子町 (再任)
理事	猪爪 範子	東京都渋谷区 (再任)
理事	北澤 健介	長野県武石村 (再任)
理事	下村 貞利	長野県長門町 (再任)
理事	高橋 光聖	長野県武石村 (新任)
理事	吉島 幸光	東京都文京区 (再任)
理事	羽田 健一	長野県上田市 (再任)
理事	堀内 憲明	長野県丸子町 (再任)
理事	増地 弘行	東京都練馬区 (再任)
監事	澤 忠鷹	長野県上田市 (再任)

●平成十四年度事業予定
学校の運営費は、従来通り
児童三〇〇人を対象に、無
償で実施。この運営費の一
部に、今年度も国際ポラン
ティア助金の配分金が決定
しました。寄生虫コントロ
ール事業も継続します。カ
カニ農場には、農業技術専
門家を派遣し、営業経営の
総決算を目標に指導する予
定です。
その他、機関誌の発行、
各地講演・バザール、一ネバ
ールの農場と学校訪問の款
も実施します。

バシユバント学校完成記念式典での「歓迎の
踊り」安井みずきさん(左から二番目)



の生体系等
の複合で織

の生体系等
の複合で織

の生体系等
の複合で織

財団法人日本農業研修場協力団収支報告
2001年4月～2002年3月 (単位千円)

1. 収入の部	
①基本財産運用収入	329
②支援者寄附金	7,763
③公的機関よりの寄附金・助成金・ 支援費	5,224
④財団設立者小林榮寄附金	2,800
⑤現地研修視察事業収入	2,067
⑥その他の収入	835
⑦前期末の繰越金	612
合計	19,630
2. 支出の部	
①国内事業費	2,514
②国外事業費	9,776
③国内事務局運営費	4,597
④基本財産へ組入れ	2,840
合計	19,367
3. 次期への繰越金	
	263

カカニ農場の近況

五月二十六日から六月九日までカカニ農場へ行って来ました。農場の近況をお知らせします。

◆イチゴ

本年三月、四月にカカニ一帯に霜が降り、被害を受けました。また五月は例年になく雨が多く果実が腐敗し、早目の収穫打ち切りとなりました。五月の雨量三三四mm、平均比一四〇mmのため、今秋にむけての育苗が始まりました。

●ポリポットにランナー

(ツル)にできる子苗を植えつける作業です。販売用を含め、約二万本の苗を養成しました。

五月九日現地で開かれる学校完成の記念式典にご招待をうけ、八日に関東から心を躍らせながらネパールに向け出発いたしました。

私達の小さな行いが、ネパールの子供達に大きな励ましや手助けになると信じ、又ひいてはネパールと日本との国際交流の一助となることを喜びとし、させて頂けた今日私達は最高の喜びに感じております。

私は昭和三十一年当時、二十四歳でした。日本の将来を考え、知事認可「安井珠算簿記学校」を開校した

成します。この作業は六月

中旬ごろまで続き、その後生育状況を見ながらランナー切り、下葉や花蕾つみ等八一九日の定植にむけて育苗作業が続きます。

本年はマルチ栽培の試験を行ないます。黒ポリフィルムで土壌面を被覆すると、雑草が防止でき地温も上昇、生育が促進します。現在の露地栽培では、二月ごろ収穫に谷間があります。それが解消できると見えています。このほか収量増加、品質向上、生産安定など期待できます。

●ネパールのプラスチック

類ゴミによる環境悪化は深刻で、マルチ栽培では再利用やリサイクルなどの環境保全に万全の配慮をしなければなりません。当時の日本は経済も又国民の心も荒んでおりましたが、教育によりある程度安定し、昭和五十五年専修学校法に基づき専門学校の許可を得、三重経済専門学

校一を開設

校一を開設いたしました。そうして今日まで四十五年間、沢山の学生を社会に送ることができ、現在社会の一員として活動しております。

あるご縁により、N.G.O

団体財団法人日本農業研修

が夏で二十五七ぐら

す。面積の増加とともに価格下落が問題ですが、①生果の低温流通システムの研究、②輸出への取り組み、③ジャム加工品の品質向上、④ジュース加工の研究など、日本、ネパールの関係者一丸となって取り組んでいきます。

◆キウイフルーツ

試作の結果、有望との結論に達し、本年二月三月に種作りを行いました。二十日ほどに張り終り、取り組み体制が整いました。昨午までのやや手抜き状態から欠株の補植も済み、除草や一般管理もよく、現地の意気込みを感じました。本年は樹づくり、整枝の年です。現地は標高一九〇〇mで

が夏で二十五七ぐら

す。面積の増加とともに価格下落が問題ですが、①生果の低温流通システムの研究、②輸出への取り組み、③ジャム加工品の品質向上、④ジュース加工の研究など、日本、ネパールの関係者一丸となって取り組んでいきます。

本年はマルチ栽培の試験を行ないます。黒ポリフィルムで土壌面を被覆すると、雑草が防止でき地温も上昇、生育が促進します。現在の露地栽培では、二月ごろ収穫に谷間があります。それが解消できると見えています。このほか収量増加、品質向上、生産安定など期待できます。

●ネパールのプラスチック

類ゴミによる環境悪化は深刻で、マルチ栽培では再利用やリサイクルなどの環境保全に万全の配慮をしなければなりません。当時の日本は経済も又国民の心も荒んでおりましたが、教育によりある程度安定し、昭和五十五年専修学校法に基づき専門学校の許可を得、三重経済専門学

校一を開設

校一を開設いたしました。そうして今日まで四十五年間、沢山の学生を社会に送ることができ、現在社会の一員として活動しております。

あるご縁により、N.G.O

団体財団法人日本農業研修

が夏で二十五七ぐら

す。面積の増加とともに価格下落が問題ですが、①生果の低温流通システムの研究、②輸出への取り組み、③ジャム加工品の品質向上、④ジュース加工の研究など、日本、ネパールの関係者一丸となって取り組んでいきます。

◆キウイフルーツ

試作の結果、有望との結論に達し、本年二月三月に種作りを行いました。二十日ほどに張り終り、取り組み体制が整いました。昨午までのやや手抜き状態から欠株の補植も済み、除草や一般管理もよく、現地の意気込みを感じました。本年は樹づくり、整枝の年です。現地は標高一九〇〇mで

が夏で二十五七ぐら

学校完成式典に出席

安井 将・みすゞ

今日まで四十五年間、沢山の学生を社会に送ることができ、現在社会の一員として活動しております。

あるご縁により、N.G.O 団体財団法人日本農業研修



子苗とり(ポット受け)の状況、標づくまで針金で固定する。

播きつけ、九月に収穫の子定です。現地で栽培が最も多い在来のお食用トウモロコシはまだ実はずいていませんが、二mぐらになっ

◆その他の品目

サツマイモは六月五日に植えつけました。マルチ栽培の適品目であり、試験的

◆雨季の農場

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

◆雨季の農場

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

◆雨季の農場

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

◆ヒル、蚊、ジユカ

今回の訪問では悪質な敵に会いました。ヒルです。(ネパール語でジュカ)雨季の始まりとともに降って湧いたように大発生です。十月、二月の訪問時は乾季で

直を吸う前は楊枝ほどの黒く細長い形ですが、気づかないうちに体に吸いつき、速激なく血を吸い、丸々と太ったナメクジのようになると離れます。

◆雨季の農場

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

◆雨季の農場

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

◆雨季の農場

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

◆雨季の農場

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

◆雨季の農場

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

本年五月下旬はすでに雨季でした。雨季といっても一日中雨降りという事はなく、長くても二時間ぐら

バシユバント学校当初目標到達

—ネパール人による自立運営に向け
移管作業の取組み開始—

五月九日、バシユバント学校完成式を、学校運動場に設けられた会場で祝いました。

この式は、非常に意義深い内容を含んでいたことを、ジャイチをご支援下さっている皆様に報告致します。

式は、マカワンブル郡地域振興会が主催、ナムター村・ダマン村共催の形で、企画・運営・費用を全て地元の人々により進められました。今後は、学校行事を何か実施しようとするれば、企画・運営はネパール人の手で準備しますが、費用は必ずジャイチへ支援を要請されたものです。

先ずこの点が、自立へ向けての芽が萌芽した第一歩と思えます。

次に、式典でネパール側主賓として挨拶した国会議員、ビル・バハドゥール・アマ氏が、「村における教育の振興と継続のために、地元の人間と生徒の親連が責任を取る時が来た」と述べたことに対し、列席者全員が頷き賛意を表わしたことは、画期的変化です。

この挨拶は、取材者の表現の通りこそあれ、当日学

校を訪れた、国営紙のライ

ジンダネパールを含む、新聞五紙、テレビ一局的報道陣により、ネパール全国へ知らされました。同時にこの報道で、ジャイチのネパールでの責任者兼池健介の挨拶も、以下の要約で発表されていきました。

一、当初計画は五年制小学校であったが、地元民の強い希望で、十年制中学校に変更した。

二、現在在校生の三〇〇名の生徒は、従来通りジャイチが無料で教育する。

三、来年三月三〇名が卒業し、新一年生三〇名が入学可能だが、経済的負担は親と地域が責任を持つべきで、ジャイチは責任を持たない。

この内容を少し説明しておきます。一言で言えば、「自立運営して下さい。」つまり、ジャイチは、地元民との当初の約束を上回る実行をした。施設も整え、学校教育の見本として、給食・保健衛生・時間厳守等、日本の制度や、学年と学力の比例進級（小学校一年生から留年制度がある）、校外事故は親の責任等、ネパールの制度を取り入れ

で、人口三十五万人のマカワンブル郡で一番良い学校と、評価を受けるバシユバント学校を贈る準備は整いました。

今後は、今年を含めて十二年掛けて一学年毎を地元へ移管するので、受入態勢をしっかりと作って、自立運営をして欲しい。日本からの経済的支援が、水久に続くことは無いことを、確認させる意味で、挨拶で話しました。

転換期の今年と来年は、この考えを定着させる重要な二年となりませう。

注1 郡の行政と議会の合

バシユバント学校 寄生虫調査 (VII)

今回の訪問は主に衛生教育を行うことが目的でした。が試験中ということもあって時間あまり取れなかつたことが残念です。しかし子供たちの元気な姿を見て安心しました。

同組織体を呼称、成式参加の人々。碑は「一炎」と一親子孫三代の手。炎は明るく生き、三代の手は継続を表現。



（理事 菊池健介）

めには三点重要な事項があります。ひとつは運営資金、もうひとつはハード、それは人的資源です。運営資金は現在まで残念ながらいくつもの財源にあたつていますがなかなか得られずジャイチにおんぶにだっこというのが実情です。将来村への移管ということを考えるとあまり資金がかかってしまいうシステムを構築してしまふことは得難いといえま

せん。しかしながらその基礎作りには資金が必要です。今後継続して多方面にわたって資金源を探していく予定です。ついでハードの面についてですが日産のプロジェクトで得られた資金によ

らはまだよくなりましたがそれでも年頃の女子児童を診察するとき外から丸見えになってしまいいやな思いをさせてしまいました。

そのようなわけで保健室の必要性がでてきました。保健室はただ単に私たちが検査を行うだけの場所ではありません。計画にあるように児童あるいは教員が自分たちで衛生教育を行いたい、簡単な治療を行える場所ともなるのです。世界保健機構のいうエッセンシャルドゥワグすなわち害の少ないしかも基本的な薬剤を揃え、常備することで急性期の疾患に対応し簡単な下痢や発熱を治療しようというものです。軽い下痢や発熱であっても熱意意欲を低下させまた発育の障害につながることを報告されています。それをネパール人白らの手で行えるようになることは重要です。

保健室には薬剤保管室、診察室、検査室それに休息室を設けます。保管室では薬剤の管理を、診察室では診察を、検査室では糞便検査のみではなく児童の理科の実験室としての利用も可能です。また休息室は通常は病気の児童を休ませておくことを目的としています。

今回はいつにも比べ本場に駆け足の訪問でしたが継続は重要なことであると考えます。最後になりましたが今回バシユバント学校十周年の式典で思いがけず感謝状を春木宏介、藤野隆志の両名が頂くこととなり非常な励みとなりました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

資金を必要としますがこれに關しても努力したいと思っています。

そして最後に人的資源ですがこれは今後マン支配人や教員と相談して児童の中から衛生教育や薬剤管理などを行える素質を持った子供を選んでいくべきであると考えています。それと最も気をつけなくてはならないことが慣れです。つまり今までの衛生教育に慣れたいい児童が興味を失ってしまうことです。これを阻止するために私たちが今後もっと工夫をし、例えば、児童による衛生教育制度を行ったり歌を作ったりすることによって興味を失われないよう努力していく必要があると、年に一度衛生をテーマにしたお祭りを学校で地域の人々を呼んで行うのもひとつの方法かと考えています。

今回はいつにも比べ本場に駆け足の訪問でしたが継続は重要なことであると考えます。最後になりましたが今回バシユバント学校十周年の式典で思いがけず感謝状を春木宏介、藤野隆志の両名が頂くこととなり非常な励みとなりました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

（森林大学医学部感染症学 熱帯病寄生虫学 春木 宏介

資金を必要としますがこれに關しても努力したいと思っています。

ダワ君 木曾山林高校に学ぶ



武石村のジャイチ事務所にて

バシユバント学校十年生
(第二期生)の、ダワ・タ

僕たち上松中学では、昨年七月にジャイチの工藤れい子さんの講演を聞いて、世界には、僕たちと同世代でも、苦しんでいる子供や、学校に行けない子供がいるということを知りました。

そこで上松生徒会では、世界の同世代の人たちに何かしてあげられないか考えました。

まず、上松生徒会では、アルミ缶の回収をして、お金をしようと考えました。

始めたころは、僕たちの呼びかけ不足もあり、あまり思うように集りませんでした。しかし、僕たちも必死になって呼びかけていくうちに、生徒のみなさんが一生懸命にアルミ缶を持ってきてくれました。

予定の期間より少し長びいてしまいましたが、目標

シ・シエル君は、開校以来九年間生徒会長を務めた、

の二万円を集めることができました。

次に上松中生徒会では、文房具集めを行いました。

文房具の不足に困っている

と聞き、一ヶ月という期間しかとれませんでした。

全校の協力でたくさんのお筆、消ゴム、ノートなどが

集りました。

僕たちは、この二つのボランティア活動を通じて、

「ひとり一人の力は小さなものだけど、みんなで協力すれば大きな力になる」とことを知りました。

僕たちは、この手紙と二

リーダーシップのある生徒です。

そんな彼は、長野県の短期でアジア高校留学生として五月に来日しました。

上松町の堀内義夫、桂子様宅でホームステイし、長野県立木曾山林高校へ通学しています。

日本の高校生と共に学び、さまざまな文化や知識、技術を体得し、将来ネパールの農林業の発展に貢献できるように頑張っていると思います。

二万円と文房具を送ります。二万円は、ネパールの学校施設のために使った。文房具はネパールの子供たちが勉強のときに使ってくれればうれしいです。

二万円も文房具もネパールの学校には、わずかな支援かも知れません。しかし、その金額や数以上に、上松中の生徒のネパールの同世代の人々に対する熱い気持ちがしみ込んでいます。

僕たちは直接ネパールに行くことはできませんが、ジャイチのみなさんが代り僕たちのこの気持ちを伝えてほしいと思います。

そしてこれからもネパールの学校のため、子供たちのために頑張ってください。

長野県木曾郡上松町立上松中学校 生徒会総務

リーダースHIPのある生徒です。

そんな彼は、長野県の短期でアジア高校留学生として五月に来日しました。

上松町の堀内義夫、桂子様宅でホームステイし、長野県立木曾山林高校へ通学しています。

日本の高校生と共に学び、さまざまな文化や知識、技術を体得し、将来ネパールの農林業の発展に貢献できるように頑張っていると思います。

二万円と文房具を送ります。二万円は、ネパールの学校施設のために使った。文房具はネパールの子供たちが勉強のときに使ってくれればうれしいです。

古切手・使用済カード収集のお願い

国際協力フェスティバル 2002のお知らせ

収集をお願いして、三年半になりました。継続しての協力有難うございます。広報誌のご支援者名簿にお名前を掲載させていただきます。

切手の回りに五ミリの余白を残して下さい。

〒一五八〇〇八四 世田谷区東玉川一〇〇

安藤雅子

国際協力フェスティバル 2002のお知らせ

国際協力に携わる政府機関、NGO等が、イベント・活動紹介などを通じて、市民の関心を高め、参加を促す事が目的です。

十月五日(土)、六日(日)日比谷公園で開催されます。ジャイチも出展します。当日お手伝い願う方(バザー、事務局までご連絡下さい)。

昨年、出展が二百を越え、五万人の人数がありました。

第十三回 ネパールの農場と学校訪問の旅 参加者募集

今年も実施します。

行傷害保険は、含まれていません。

◆日程 十一月三日(日)

◆旅行 関空から上海経由

で同日カトマンドゥ着

翌日よりダマンパシユバ

ント学校へタウダーチ

ワン国立公園・ボカカ(ミ

ニドレッキング)・カトマ

ンドゥ(マウンテンフラ

イト)・カカニ農場・カト

マンドゥと移動します。

◆費用 二十六万円、全行

程中の移動手段(航空機は

エコノミークラス、宿泊費、

食費を含む。空港往復の

日本国内交通費と、海外旅

◆お問い合わせ、お申込み

ご寄附のお願い

ジャイチの活動を何れも心に留めて下さり、感謝申し上げます。運営されている財源その他について説明を致します。ご協力をお願い申し上げます。

1. ジャイチ基金……財団法人ジャイチの基本的財源の確保
2. ジャイチ維持費……ジャイチの運営維持費
3. ジャイチ事業費

新たに大きい費用の分かる事業を計画した時にその応援費用として確保することを目的としています。

郵便振替 00510-4-65434
振込先 番号 { 銀行振込 八十二銀行丸子支店 (番) 4205/77
口座名 財団法人日本農業研修協会の
住所 〒385-0502 長野県小県郡武石村沖456
電話 0268-85-3465 FAX 0268-85-3583

尚、金額に関しては規定がございませんので、お振りお切りご自分でお決め下さいますようお願い申し上げます。(例えば、収入の1%を、小遣の1%を、的々考えは如何でしょうか)

物故者のお知らせ

支援者の方で当方で把握している物故者を掲載します。

ご冥福をお祈りしますと共に、感謝いたします。石崎章司様 十三年四月 (愛知県名古屋)

お願い

次の方への郵便物が届きません。新住所をご存知の方は事務局までご連絡をお願いします。カッコ内は旧住所です。

安西昭彦様 (大田区) 長谷川昭一様 (泊江市) 中島真様 (根本市)

紙面の都合により「編集後記」は休みます。

若林助蔵様 十三年十一月 (滋賀県彦根市) 藤江浅太郎様 十三年十二月 (東京都練馬区) 成瀬大治様 十四年五月 (滋賀県今津町) 北沢七助様 十四年六月 (長野県武石村)